



TPN投与時は、肝機能に注意

グルコースを主なエネルギー源とする中心静脈栄養法(TPN)では、脂肪肝がみられることがあります。

原因は？

- ・**過剰なグルコースの投与**
→高インスリン血症
→肝臓での脂肪の合成が増える
- ・**糖とアミノ酸の不適切な割合による投与**
→アポリポ蛋白の合成低下
→肝臓から脂肪が運び出せない
- ・**必須脂肪酸の欠乏**
→肝臓で細胞膜障害が起こる
→中性脂肪の排出抑制



⇒脂肪肝になり、肝機能が傷害される！

対策は・・・

- ・脂肪乳剤との併用
- ・適切なNPC/N比(アミノ酸の量)を維持する

静脈栄養を投与する場合には、
カロリーだけでなく、構成成分も重要です。



NSTへのお問い合わせは栄養管理部またはリンクナースへ
(栄養管理部PHS：913・970)